

2024年5月1日

各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2024年 4月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	129.8
阪神梅田本店	105.7
支店計	110.3
全店計	119.9

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

○ 全店の概況

- 春の行楽や、新生活も背景に春のファッションや各種ギフトへのニーズなど、お客様の購買意欲は高く、全店売上高は前年に対して約2割増と好調。引き続き都心店の売上高の伸長率は高い水準で、中でも阪急本店の売上高前年比は約3割増と牽引。
- 免税売上高は前年に対して3.5倍、中でも阪急本店は約3.6倍と引き続き好調で、お花見シーズン後も高い水準で推移し、同月対比として11ヶ月連続、単月としても3ヶ月連続で過去最高を更新。

○ 阪急本店の概況

- 4ヶ月連続で、過去最高売上高を更新(同月対比)。
- 婦人・紳士ファッション全般が好調で、インハウンドのお客様の売上も押し上げとなり各カテゴリーの売上高は前年に対し2ヶ増、中でも服飾雑貨や化粧品、ラグジュアリー、紳士カテゴリーは3割増を上回る水準。特にバッグやインターナショナルファッションの売上高は前年に対し5割増を上回り牽引。婦人ファッションでは、日ごとの気温の変化が大きく、ニットやジャケットなどの羽織アイテムや、パンツが好調。また、初夏のニーズとして帽子やサンダルなども稼働。明るい色目のミニバッグやトートも買い替え需要が高まり、ゴールデンウィークに向けたニーズも後押しとなり人気。
- 100万円以上の高額品の売上高は、前年の約1.4倍と引き続き高い伸びを示した。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2023年度												2024年度
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
阪急本店	116.6	113.3	118.8	115.9	125.9	126.1	116.7	116.1	115.1	120.2	132.0	130.0	129.8
阪神梅田本店	99.7	117.1	107.9	118.0	133.5	158.3	104.4	150.0	111.9	117.6	119.1	107.0	105.7
支店計	112.3	115.6	109.6	114.9	118.4	116.3	110.8	112.0	108.5	110.0	115.5	111.4	110.3
全店計	112.9	114.5	114.1	115.8	123.8	126.3	113.2	118.0	112.3	116.0	124.5	119.9	119.9

■ 食品事業

イズミヤ・阪急オアシス	売上高前年比(%)
全店計	100.0

関西スーパーマーケット	売上高前年比(%)
全店計	102.6

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

<本件に関するお問い合わせ先>
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL:06-6367-3181